



ゆうメール

【差出人】 エルネット
【返送先】 〒815-0075
福岡市南区長丘 5-25-12
サインエフェクト内エルネット



Signeffect 新聞

1 2025

VOL. 59

謹賀新年

菊池神社由来書

建立 明治二年 四月
御祭神 菊池武時 壇安命・仁徳天皇

元弘三年、肥後国の武士である菊池武時は、後醍醐天皇から九州博多の地にある、九州探題の北条時時を討伐せよという命を受けました。武時公は一族を率い錦の御旗を翻し、肥後の国を出立。二月十二日未明より博多を攻め始めましたが、同盟を交わしていた大友宗景と少貳貞経が北条方へねがえつた事を知ります。

武時公は「日本一の不儀者に頼ったことが自分の落ち度であった」と加勢なしに大いに奮戦し、一時は北条時時が自刃を覚悟するまでに追い詰めましたが、背後より大友氏と少貳氏の千騎あまりから攻め込まれました。武時公は「万事休す」と天を仰ぎ、嫡子の武重を側に呼び「お前は菊池に成り、城の守りを固くし、再び兵をあげる機会を待て」と、己の袖を破り、

「故郷に今宵はかりの命とも知らずや人の武を待つらん」と辞世の句を記したため持たせ帰りました。この出来事は「袖ヶ浦の別れ」と呼ばれ、後に楠本正成の「櫻井の別れ」の原型となります。その後、武時公は最後まで戦い抜き、非業の死を遂げられました。

武時公の死後、家臣たちは厳しい監視の目をかいくくり、ご遺体を肥後へ帰せうと試みましたが、追手の厳しさをゆえ、やむなくこの七隈の地に埋葬しました。

その後、長い間その地は放置されておりましたが、ある時村人の夢枕に武時公が立たれ「われここにあり」と告げられました。その地を掘り返したところ、地中から太刀が出て、この地が菊池武時公の墓所であることが判明いたしました。

文政十年、黒田家の家臣二川相近が吉野山の松を墓の傍らに植え、御霊を慰め、さらに天保二年、菊池氏の末裔である城武貞が黒田藩主の協力を得て、荒廃していた墓所を整え、墓研・現存を建てられました。

翌天保三年三月十三日、武時公の没後五百年、城武貞が祭主となり、津和野黒田清隆公より金指を賜わり盛大な五百年祭が執り行われ、この地が武時公の墓所と万民の知るところとなりました。そして、明治二年、福岡藩主黒田長知公の命により奉行を中心に「玉垣 現存」を建設、手洗い鉢が奉納され神社建立となりました。



謹んで新年のお祝いを 申し上げます

旧年中より皆様には格別のご厚情を賜り、心より御礼を申し上げます。

さて、弊社は創業以来、皆様を支えられ地域とともに歩みを進めてまいりましたが、昨年、弊社の氏神様として大切にお参りしております福岡菊池神社に、主祭神・菊池武時様の「袖ヶ浦の別れ」を記した由来書看板を奉納させていただきました。この看板は神社裏手の武時様墓所にあり、訪れる方々に歴史と信仰の息吹を感じていただく一助となれば幸いです。ぜひ、福岡にお越しの際にはご覧ください。

本年も引き続き、前向きな姿勢と情熱を持って、看板を通じた「想いの伝達」に力を尽くして参ります。

令和七年が皆様にとって、健やかで幸多き一年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。

代表取締役社長 洲上美保子



www.signeffect.co.jp

サインエフェクト株式会社
〒815-0075
福岡市南区長丘5丁目25-12
☎ 092(408)7771
FAX 092(408)7772

頑張るぞ
睡眠前の
ストレッチ
営業二課アシスタント
橋口千恵

たくさんのお
出会いとご縁を
大切に
営業二課 課長
竹田拓司

笑いじわ
できてもいいの
笑み咲かす
営業一課アシスタント
石田静香

新世界
ほんとの自分を
生きている
営業一課 課長
小嶋祥一

目標を
必ず一つは
達成する
営業一課
奥田編美

とりあえず
十時に布団
入りたい
デザイナー
長澤佑佳

健康で
元気に過ごす
一年に
製作課 課長
山本秀和

サイエンセラピスト
新年の目標

良質な
食事と睡眠で
健康体
チーフデザイナー
松崎知佐

短距離と
長距離走で
50 | 50
営業三課 課長
水溜利彦

何事も
チャレンジ精神
ポジティブに
工務課 課長
仁賀奈勇軌

むくみ取り
目指せ美脚
一歩ずつ
デザイナー
本田花那

2025

ありがたや
感謝の気持ちで
福を呼ぶ
専務取締役
瀧上賢

大掃除
ルーティン掃除で
楽しむぞ
製作課
井上麻由

亮ちゃん
新天地でも
和やかに
製作課
瀧上亮成

姪っ子を
抱き続けるため
筋トシだ
製作課
片小田優衣

現場作業
事故がないよう
気をつける
工務課
古賀大貴

何事も
心の余裕と
視野広く
製作課
竜口遙

資格得て
ステップアップを
目指す年
製作課
横田勇氣